

## TOPICS

### ■ 女性プラザ祭2006が開催されました。

平成18年11月10日(金) 会場：北海道立女性プラザ

午前中は、ワークショップが行われました。美幌町と函館市の活動報告に続き、留萌市のメンバーによる演劇が上演され、会場を沸かせていました。

午後からはエッセイストの海老名香葉子さんの「泣いて 笑って 頑張っ  
て」と題した講演があり、戦争の悲惨な体験、三平師匠との生活秘話、家族  
と内弟子を支えるために始めたテレビ出演や執筆活動、脳梗塞で3度も倒れ  
た話など、想像をはるかに超える人生模様、会場の参加者は最初から最後  
まで、泣き笑いの連続でした。



### ■ 2006男女共同参画フォーラム in 北海道が開催されました。

平成18年11月16日(木)・17日(金) 会場：札幌エルプラザ

2日間の日程で開催されたフォーラムは、初日に「ポジティブ・アクションの推進と女性のチャレンジ」と題した基調講演とロールプレイ「さまざまな場面で考える男女共同参画」が行われました。岩見沢から参加したメンバーも何名か指名され、ドキドキしながら与えられた役を演じていました。

2日目、第3分科会の「次世代の育成と男女平等参画へのチャレンジ」は、男性が1年間の育児休暇をとったという報告でした。今はまだ、数少ないチャレンジャーの勇気に拍手を送りましたが、そのバイオニア的な行動も、後に続く人がいないことを知り、とても残念に思いました。

### ■ 全国シェルターシンポジウム2006 in はこだてが開催されました。

平成18年11月25日(土)・26日(日) 会場：函館市民会館

「垣根を越える～NPO、行政、地域の連携によるDV防止へ～」と題した基調講演と、「自治・人権・協働」をテーマにした全国シェルターシンポジウムが開催されました。

社会的な問題となっているDV（ドメスティック・バイオレンス）の現状を知るとともにその根絶に向け、一人ひとりがそれぞれの立場で連携して取り組んでいくことの大切さを学びました。



## INFORMATION

### 市民会議は、新しい仲間を募集しています!



行政と市民のパートナーシップにより、年齢や性別にこだわらず、一人ひとりが個性的に活躍できる社会をめざして、「男女共同参画フォーラム」の企画・運営、男女共同参画情報誌「ア・ライク」の企画・編集のほか、「いわみざわ男女共同参画実践プラン」の推進に向けた地域啓発活動を行います。

皆さんも私たちと一緒に楽しく活動してみませんか。詳しくは、住民自治・男女共同参画推進室までお問い合わせください。(0126-23-4111 内線422)

### 編集後記

いよいよ本格的な春が到来する3月に、「ア・ライク」の編集を無事終了することができました。

この一年、会の運営もメンバー一人ひとりが積極的に参画するなど、実り多かったと自負しているところです。今後多くの市民の皆さんの参加をいただきながら、岩見沢市の街づくりに向けた実践プランの推進に努めてまいります。

さて、編集委員として一緒に活動してきました松田展美さんが、1月末に急逝されました。大切なメンバーを失いとても残念です。心からご冥福をお祈りいたします。

### ご意見・ご感想をお待ちしています。

**ア・ライク** VOL.5 2007年3月  
発行 岩見沢市  
(企画財政部住民自治・男女共同参画推進室)  
〒068-8686 岩見沢市鳩が丘1丁目1番1号  
☎0126-23-4111 (内線422)  
E-mail: danjo@i-hamanasu.jp  
企画・編集 岩見沢市男女共同参画情報誌編集委員会  
(いわみざわ男女共同参画プラン推進市民会議)

## いわみざわ男女共同参画マガジン

# ア・ライク

ア・ライク(A'like)～共に生きる～  
(同様の・等しく)という意味を持ちます。

2007年 VOL.5



## コンテンツ

- 《特集》いわみざわ男女共同参画実践プランが完成しました!
- “あ・らいく”な人
- '07男女共同参画市民フォーラム in いわみざわ開催

# 特集 いわみざわ男女共同参画実践プランが完成しました!

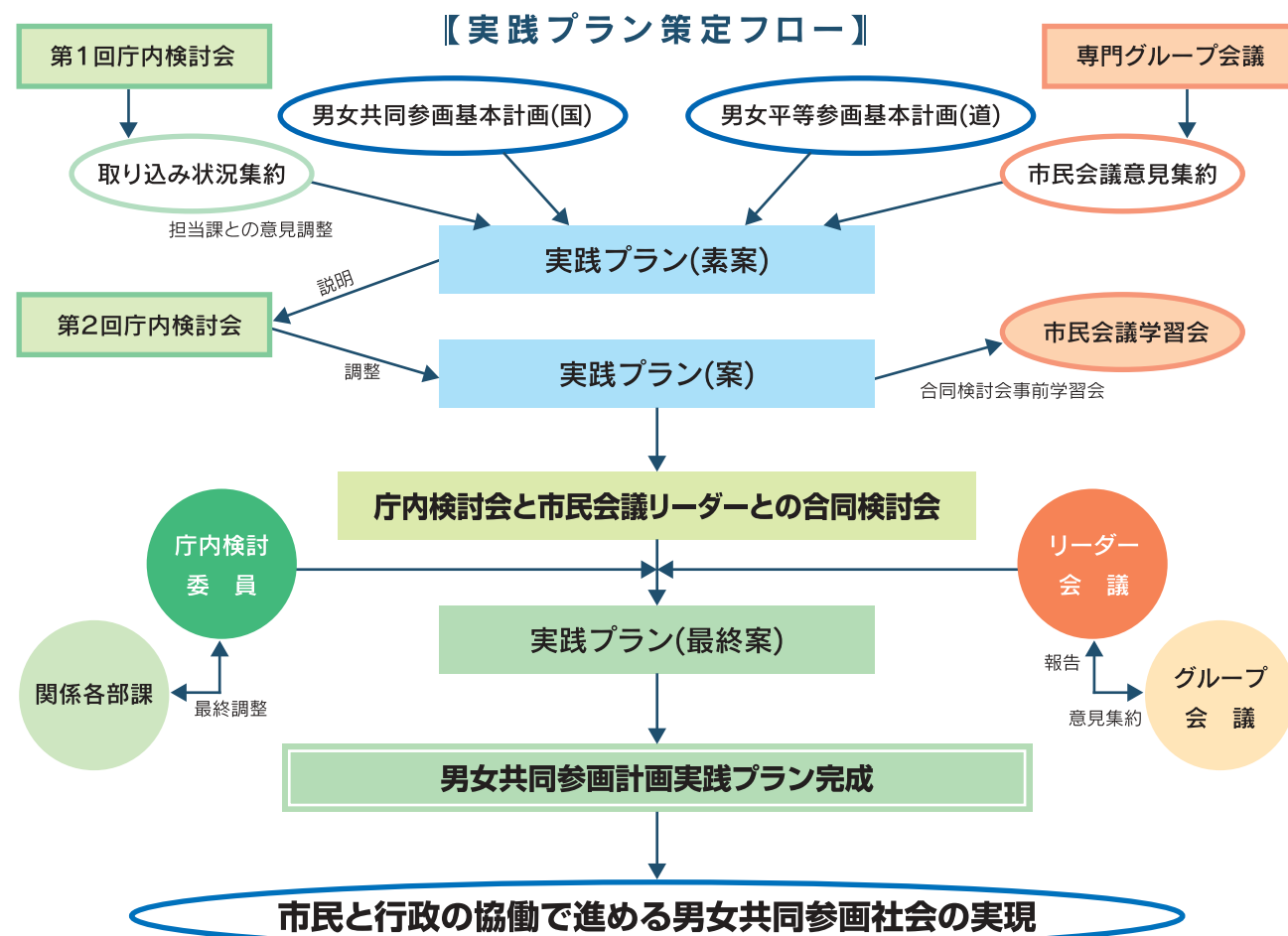
## 経過と主旨

平成11年、国が男女共同参画社会基本法を制定したのを受け、岩見沢市では平成14年度に岩見沢市男女共同参画計画を策定し、男女共同参画社会の実現に向けた5つの基本目標を示しました。男女がともにそれぞれの個性と能力を発揮し、お互いを認め合い、誰もが等しく責任を分かち合うことができる社会を実現するためには、具体的な取り組みの方向を示す実践的なプランと、市民と行政とのパートナーシップによる推進体制の確立が重要となることから、市民で構成される「いわみざわ男女共同参画プラン推進市民会議」を立ち上げるとともに、市の総合的な推進体制として関係部署の担当者で構成する庁内検討会を設置し、市民と行政との協働により「いわみざわ男女共同参画実践プラン」を策定しました。

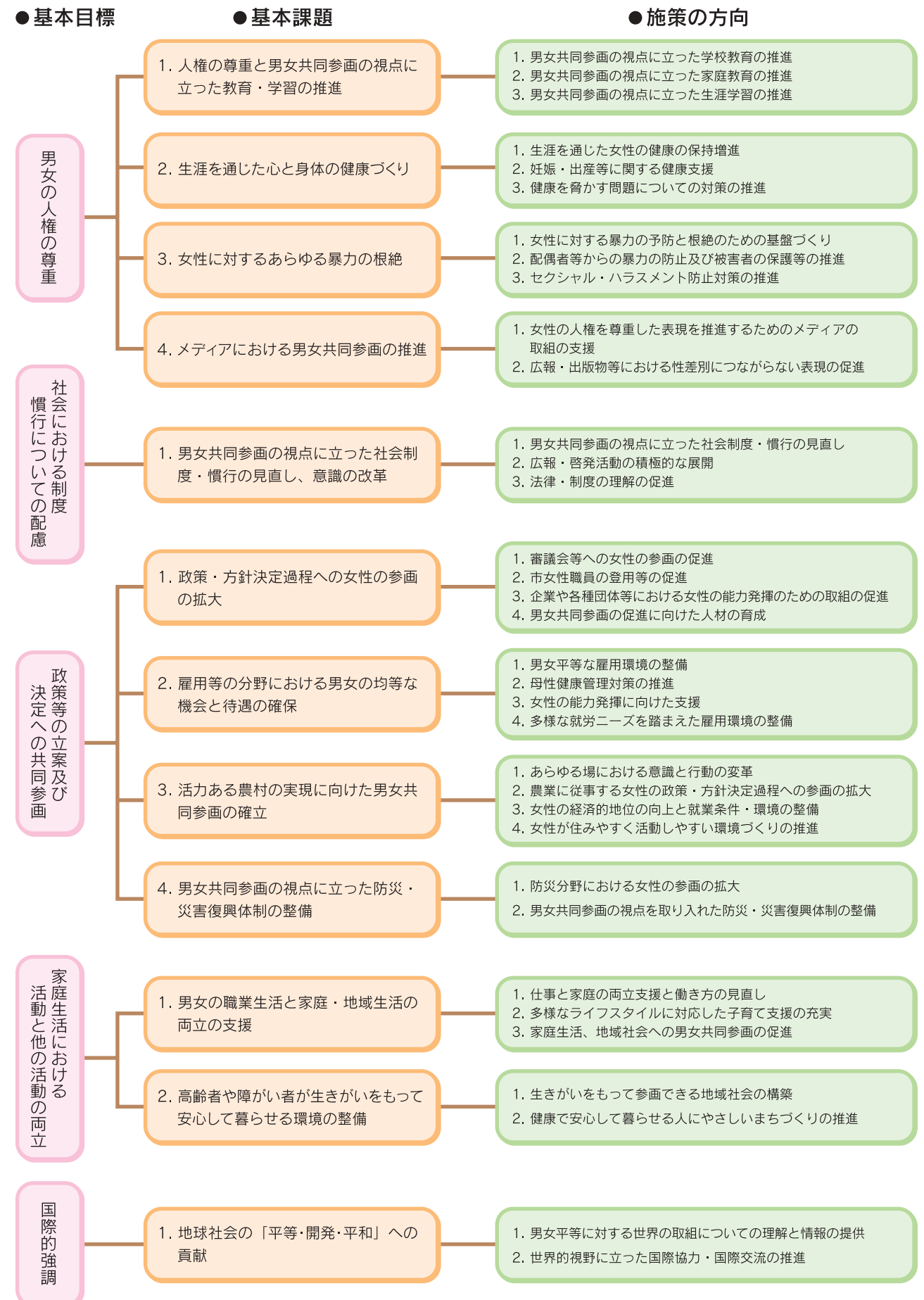
この実践プランの推進により、男女共同参画社会の実現を目指すとともに、市民と行政とのパートナーシップがさらに進展し、男女がともにいきいきと輝きながら暮らせる、市民が主役の人にやさしい温かい街づくりをめざします。



合同検討会では活発な意見交換が行われました



## 実践プランの体系図





# 市民と行政の協働で進める男女共同参画社会の実現

プランの推進にとって何よりも大切なことは、市民と行政のパートナーシップによりプランに掲げた各種施策を実施することです。

## 【基本目標1】

### 男女の人権の尊重

#### 《基本課題》

1. 人権の尊重と男女共同参画の視点に立った教育・学習の推進
2. 生涯を通じた心と身体の健康づくり
3. 女性に対するあらゆる暴力の根絶
4. メディアにおける男女共同参画の推進

～市民の皆さんも実践しましょう～  
市民・地域・企業

- \* 「男らしさ」「女らしさ」にとらわれず「自分らしさ」を大切にしたい子育てや家庭教育をしましょう。
- \* 適切な食生活と、適度な運動により健康管理に努めましょう。
- \* 女性に対する暴力は、犯罪であるという認識を持ちましょう。
- \* メディアからの情報を正しく理解できるよう自ら学習しましょう。

## 【基本目標2】

### 社会における制度慣行についての配慮

#### 《基本課題》

1. 男女共同参画の視点に立った社会制度・慣行の見直し、意識の改革

～市民の皆さんも実践しましょう～  
市民・地域・企業

- \* 女性も男性も固定的な役割分担意識にとらわれず、職場・家庭・地域等における慣習・慣行について見直しましょう。

## 【基本目標3】

### 政策等の立案及び決定への共同参画

#### 《基本課題》

1. 政策・方針決定過程への女性の参画の拡大
2. 雇用等の分野における男女の均等な機会と待遇の確保
3. 活力ある農村の実現に向けた男女共同参画の確立
4. 男女共同参画の視点に立った防災・災害復興体制の整備

～市民の皆さんも実践しましょう～  
市民・地域・企業

- \* 市政に関心をもち、学習の場や地域活動・市民活動などに積極的に参加しましょう。
- \* 企業もポジティブ・アクション（積極的改善措置\*）の自主的な取組みに努めましょう。
- \* 固定的な役割分担意識に基づく慣習や慣行を見直しましょう。
- \* 男女が共に参画する地域の防災体制をつくりましょう。

## 【基本目標4】

### 家庭生活における活動と他の活動の両立

#### 《基本課題》

1. 男女の職業生活と家庭・地域生活の両立の支援
2. 高齢者や障がい者が生きがいをもって安心して暮らせる環境の整備

～市民の皆さんも実践しましょう～  
市民・地域・企業

- \* 企業は育児や介護をする男女労働者が働き続けやすい職場環境の整備に努めましょう。
- \* 高齢者の持つ知識や経験・技術を積極的に活かしましょう。

### 基本理念

- ◆ 男女の人権の尊重
- ◆ あらゆる分野への参加・参画の推進
- ◆ 自立と共生の促進

### 男女共同参画社会とは？

- ◆ 社会のあらゆる分野に男女が平等に関われる社会
- ◆ 性によって役割を固定せず、男女がともに参画することにより、責任と喜びを分かち合える社会
- ◆ 女性も男性も多様な選択肢の中で、自分らしく、豊かで充実した人生を実現できる社会

### プランの性格

市が実施する施策を示すとともに、市民と行政とのパートナーシップによる推進を目指し、市民一人ひとりの理解と協力を得るため「市民の皆さんも実践しましょう」の欄を設けて、市民（市民・地域・企業）の取り組みを記載しました。

### プランの期間

平成19年度から平成23年度までの5年間です。

## 【基本目標5】

### 国際的協調

#### 《基本課題》

1. 地球社会の「平等・開発・平和」への貢献

～市民の皆さんも実践しましょう～  
市民・地域・企業

- \* 国際交流等の機会を利用し、外国への理解を深めましょう。

\* **ポジティブ・アクション**  
固定的な性別による役割分担意識や過去の経緯から、男女労働者の間に事実上生じている差があるとき、それを解消しようと企業が行う自主的かつ積極的な取組のことです。



# あいらくな人

あいらくな人  
あいらくな人  
あいらくな人

いろんな個性があるから  
いわみざわが面白い

ポスフル岩見沢店  
店長 相馬 仁美さん



## ■ベビー用品売り場は私の原点

入社当初はベビー用品売り場に配属になり、何の経験もない私がチーフをまかされたのが27歳でした。初めは戸惑いましたが、一緒に働いた知識豊富なパート社員に教えられ成長することができました。販売の仕事が思いのほか面白く、自分に向いているのかもしれないと感じました。25年も働いているのですから苦労もあったように感じますが、一日10時間以上も職場にいますので、仕事が楽しくなくては続かなかったと思います。今まで様々な部署に配属になりましたが、自分を支えてくれた素晴らしい上司や同僚に恵まれたことで成長することができ、店長への道が開けたように思います。



総合スーパー道内最大手のポスフル。学生時代は内向的な性格だったと話されていましたが、その面影はみじんもなく、細身の体に黒のパンツスーツで、250名の従業員の店長として店内の中をさっそうと歩く姿はとても輝いていました。

## ■当然ですけど… 店長は、責任重大!!

店づくりは常に安心安全を心がけ、第一にお客様の声に耳を傾けながら、安心してご購入求めただけのお店を目指しています。また、従業員の衛生面・健康面には絶対事故が起こらないよう、日頃から徹底した指導をしています。今年は、特にノロウイルス対策に細心の注意をはらいました。売り場では従業員の声を直に聴くようにしていますが、一人ひとりに声をかけることは限りがあるので、担当マネージャーを通して自分の意志が伝わるよう心がけています。

お店は、店長一人で動くものではないので、店長としての責任の重さを改めて感じています。

## ■感謝の気持ち…

この会社に入って今日まで、女性だから男性だからと意識することなく来ましたが、経験豊富な人材が結婚や出産により辞めてしまうのは残念に思いました。これからは女性でも男性でも、いつまでも仕事を楽しく続けることができるよう、応援していきたいと思えます。自分が経験し、学んできたことを後輩たちに伝えていくことが、これまで自分を支えてくれた方への感謝の気持ちです。



## ■笑顔あふれる店づくり

地域に密着した店づくりとして、今年は盆踊り・ハロウィン・キッズクラブ(旭山動物園)等を開催し、多くの参加をいただきました。最近では、嬉しい事にお客様の来店も増え、地域の皆さんに支持していただいていることに大きな喜びを感じています。これからも様々なイベントなどを企画し、お客様に喜んでもらえるお店にしていきたいと思えます。また、従業員には売り場づくりの楽しさを感じながら、明るく元気で働き続けることができる職場づくりを心がけ、これからも常に笑顔があふれる、お客様第一のお店づくりを目指していきたいと思っています。

# ’07男女共同参画市民フォーラムinいわみざわ開催

平成19年3月11日(日)「みんな違ってそれでいい!!～笑顔で生きよう男と女～」をテーマに、平成18年度の「男女共同参画市民フォーラムinいわみざわ」を開催しました。講師に、テレビ等でも活躍中の住田裕子弁護士をお招きし、「一人ひとりが輝こう…私の個性もあなたの個性も」と題して、ご自身の体験をもとに、様々な角度からわかりやすくお話をしていただきました。講演のあとは、男女共同参画を多くの皆さんに理解してもらおうと、実行委員会のメンバーによるロールプレイが行われました。



## ■行列のできる法律相談所の人気の秘密

視聴者である皆さんから見ると、出演者の個性的なキャラに興味があるわけです。笑わない北村弁護士によく笑う3人、吉本文化で進行する紳助さんに、勝手に発言する出演者が実に面白いのです。この番組に出ていて、どうして弁護士の意見が違うのですかと、よく聞かれますが、それは「変な弁護士を4人も集めたからよ!」と答えています。(笑)

## ■女性が働くということ

私は一生仕事を続けたいという思いから、東京大学に入ったのですが、民間企業も国家公務員ですら女性には門戸が閉ざされていました。司法試験に合格しても女性は必要とされず、やっと検事になれても「検察は男の世界だ」と言う声ばかり、職場結婚したときは「旦那さんのために早く辞めなさい」と、はっきり言われました。そんな中で、二人の子どもを育てながら仕事を続けられたのは、周りに子どもの預け先があったこと、留守宅の雑用を任せられる人がいたという恵まれた環境があったから、多少手抜きをしても頑張れたと思っています。

## ■人の心が分かる教育

女性が仕事をしていると子どもがしっかり育たないとか、非行に走るのではないかとされることがあります。母親が働いていることが問題でないことは、様々な調査結果から明らかです。ただ、凶悪な少年事件があり、心配する方も多いと思います。これは「嘘をついてはいけない、正直でなくてはいけない、いじめてはいけない」という規範教育、人の心がわかる教育が足りないという問題があるのです。お父さんには特に、家庭での教育にかかわっていただきたいと思っています。大人が地域全体で子どもを育てるという方向に変わることが大切です。

## ■一人ひとりの個性を大切に

これからの人口減少時代では、一人ひとりが今まで以上に大事な存在になってきます。全国的に見ると今や人材の争奪戦です。これから社会に出て行く若い人ほど、国際的にも通用する人材になるため、男女の違いではなく、個性を大切にすることがもてめられています。また、日本は超高齢社会に入っていきますが、日本人の健康寿命は世界一で、高齢者の活躍の場はさらに広がっていきます。これからは男女共同参画、老いも若きも老若共同参画で、岩見沢がますます発展されるよう、皆様のご活躍を心から期待しています。

## ■ロールプレイを熱演!!

「二人目の子どもの出産を機に夫の一郎が育児休暇をとることに…」その時、職場では…実家では…日常の話題を、若い夫婦の周りで起こる様々な出来事として3話に分けて実行委員がロールプレイで表現しました。

- 第1話 ~一郎の長女愛ちゃんの「桃太郎をやりたい!」騒動の行方は…
- 第2話 ~男性の育児休暇第一号、会社の同僚たちの反応は?
- 第3話 ~一郎の実家では父親が大反対!そして、おじいちゃんの介護はいったい誰が…

住田弁護士の講演に引き続き、会場の皆さんには、「それぞれの役がもし自分だったら…」と考えながら、ロールプレイを見ていただきました。

